



三河小便り

文責 渡邊 孝

◆◆やっど梅雨入り◆◆

田植えシーズンを迎え、例年より最も遅い梅雨入りとなりました。27日の給食の時間には、大雨の時に気をつけることと雷が鳴ったときの対応について子ども達に知らせています。例えば、①雨が降っている時は、川や用水路に近づかないこと ②雷の音が聞こえたら、建物の中や車の中にすぐに避難すること③雷は、木より人間の方が電気を通しやすいため木のそばや木造の建物の軒下に避難しないこと等を説明して注意を促しました。当分は雨模様の日が続くようです。家庭でも雨の日は必要がなければ外出は避けるようご指導ください。



6月6日(木)の朝の活動で、矢部川が氾濫したことを想定して「水害避難訓練」を実施しました。1次避難場所として北校舎2階の音楽室へ、2次避難場所として北校舎屋上へと避難しました。7年前の九州北部豪雨では、矢部川の氾濫が心配され、三河小学校の体育館や校舎には、500人近くの方が避難されました。これから大雨の季節を迎えます。大雨での避難はもちろん、登下校も、災害時下校訓練等を活かして保護者や地域の皆様と連携しながら、安全確保に努めていきたいと思ひます。

◆◆愛校作業、アジャタ大会お疲れ様でした◆◆



6月9日(日)は、日曜日の早朝にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様には、親子で登校し、愛校作業、PTAアジャタ大会に参加していただきました。愛校作業では、学年ごとに親子で教室や廊下、特別教室、トイレなど、普段子ども達だけでは行き届かない所をきれいにしていただきました。また、お父さん方には、北校舎南側と南校舎北側の側溝の泥上げを頑張っていただきました。多数の参加をいただき校内とその周辺の美化に努めていただきありがとうございました。また、子ども達にとっても親子で掃除をするという貴重な体験の場となりました。

体育館で行われたPTAアジャタ大会も、学級委員さんを中心にチームワークで熱戦が繰り広げられました。参加していただいた保護者の皆様、お疲れさまでした。愛校作業をお世話いただいた教育文化委員さん、PTAアジャタ大会のお世話をいただいた学年学級委員さん方、大変ありがとうございました。今後も保護者の皆様の横のつながりを大切に、子ども達への支援をよろしくお願いしします。

◆◆「立腰」(りつよう)という教え◆◆



「立腰」(りつよう)とは、腰骨を立てて背筋を伸ばして座る姿勢のことです。日本の教育界に多くの功績を残された森信三先生が提唱された取組です。森先生は、心と身体は表裏一体のものであり、「心を立てようと思ったら、まず身を起こしなさい」と教えました。

3年前より、三河小学校でも、この「立腰」の取組を授業はもちろん、朝の会や帰りの会、給食や読書タイムなど学校生活に取り入れています。是非、ご家庭でも家庭学習や食事の時などに行っていただき、学校と家庭が連携して「立腰」の取組を進めることができるようお願いします。

「立腰」の功德十か条

- 1 やる気が起こる
- 2 集中力が出る
- 3 持続力がつく
- 4 頭脳が明晰になる
- 5 勉強が楽しくなる
- 6 成績も良くなる
- 7 行動が俊敏になる
- 8 バランス感覚が鋭くなる
- 9 内臓の働きが良くなる
- 10 スタイルが良くなる

【お知らせ】

7月1日より、八女市内の全小中学校で敷地内禁煙となります。児童等の受動喫煙防止のためご協力をお願いします。